

骨髓検査所見用紙

症例No. _____

提出者 _____

記入方法: 該当する所見を○で囲んでください。囲み用○    には所見を記入してください。

標本観察所見

1. 標本の評価 良好 不良(理由: _____)

2. 細胞密度 無形成 低形成 正形成 過形成

3. 脂肪滴 減少 正常 増加

4. 骨髓巨核球 著減 減少 正常 増加

5. M/E比 低 正 高

6. 各細胞系統について

1) 顆粒球系

(1) 分布密度 減少 正常 増加

(2) 成熟分化 正常 異常

(3) 芽球細胞 正常 増加

(4) 形態異常 (あり・なし)

過分葉好中球 (- +) 脱顆粒 (- +) デーレ小体 (- +)

ヘルペル核異常・低分葉好中球 (- +) 小型好中球 (- +) 巨大好中球 (- +)

輪状核好中球 (- +) 二核骨髓球 (- +) 中毒性顆粒 (- +) 空胞化 (- +)

(5) 異形成の合計 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

ヘルペル核異常 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

脱顆粒 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

(6) その他・特記事項 _____

2) 赤芽球系

(1) 分布密度 減少 正常 増加

(2) 形態異常 (あり・なし) 巨赤芽球(様)変化 (- +)

多核赤芽球 (- +) 核辺縁不整 (- +) 核融解像 (- +) 核断片化 (- +)

核間架橋 (- +) 細胞質の狭小化 (- +) 空胞化 (- +)

(3) 異形成の合計 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

(4) その他・特記事項 _____

3) 巨核球・血小板系

(1) 巨核球形態 (あり・なし) 微小巨核球 (- +)

小型巨核球 (- +) 単核巨核球 (- +)

分離多核巨核球 (- +) 幼若巨核球 (- +)

(2) 血小板産生像 減少 正常 増加

(3) 異形成の合計 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

微小巨核球 1+ 10%未満 2+ 10~50%未満 3+ 50%以上

(4) その他・特記事項 _____

4) リンパ球系・その他

(所見自由記載)

7. 異常細胞の出現あり

1) 形態的特徴

(1) 細胞の大きさ 小 中 大 (正常小リンパ球を小、好中球を中とする)

(2) N/C比 <60% 60~80% >80%

(3) 核の形状(不整、切れ込みなどの有無を記載する)

(4) クロマチンの性状 網状繊細 顆粒状 粗剛 塊状

(5) 核小体 不明瞭 明瞭 (明瞭の場合、特記すべき事あれば記載する)

(6) 細胞質 1)好塩基性 強い 弱い

2)顆粒(顆粒の大きさ、色調、大体の個数を記載)

3)細胞質辺縁 不整 不明瞭 偽足様突起

4)その他の構造

(7) その他(集簇性の有無など)

8. 細胞所見・考察(細胞所見のまとめ、診断根拠となる他の検査所見、考えられる疾患名、追加すべき検査と期待される結果など)

